

## 昭和59年度事業計画(案)

(自昭和59年4月1日・至昭和60年3月31日)

## 1. 会 員

項目	種 別	正 員	准 員	学 生 員	事業維持員	合 計
58年度末会員数		20,548	1,361	783	520 (3,261口)	23,212
入 会・復 活		+ 820	+ 250	+ 450	+25 (+49口)	+ 1,545
種別変更	准→正	+ 700	- 700			0
	学→准		+ 450	- 450		0
退 会・死 亡		- 705	- 90	- 25	- 5 (-10口)	- 825
除 籍		- 360	- 10	- 0		- 370
増 減		+ 455	- 100	- 25	+20 (+39口)	+ 350
59年度末会員数		21,003	1,261	758	540 (3,300口)	23,562

## 2. 功績者の表彰

功 績 賞	1 件
電 力 賞	2 件
電気学術振興賞	
進 歩 賞	6 件
論 文 賞	6 件
著 作 賞	1 件

年間発行部数 3,000 部 (隔月平均 500 部)

(4) 広 告

年間掲載予定 雑誌 504 ページ 論文誌 48 ページ

(5) 会 合

(i) 雑誌編修

編修企画委員会

◦本委員会: 年 3 回

◦分科会: 年 2 回

◦幹事会: 年 9 回

(ii) 論文誌編修

◦論文委員会 (46名): 毎月 1 回

〔その他査読委員 270名〕

(iii) 学界時報 ニュース欄編修

◦各委員会: 毎月 1 回

(iv) 広告編修

◦広告改善委員会: 年 4 回

(内 1 回は見学会を兼ねる)

## 3. 大 会

## (1) 昭和59年全国大会

昭和59年3月28日(水)~30日(金): 中央大学において開催

(別途独立会計, 現地に実行委員会設置)

## (2) 昭和59年電気四学会連合大会

昭和59年10月7日(日)~9日(火): 日本工学院専門学校において開催

(別途独立会計, 事務担当は電気学会)

## 4. 雑誌・論文誌

## (1) 雑 誌

年間ページ数 2,112 ページ (月平均 176 ページ)

〔特集2回(5月号, 11月号), 小特集8回〕

年間発行部数 282,000 部 (月平均 23,500 部)

## (2) 論文誌

年間ページ数 1,992 ページ (月平均 166 ページ)

年間発行部数 合計 288,000 部

A分冊 66,000 部 (月平均 5,500 部)

B分冊 141,600 部 (月平均 11,800 部)

C分冊 80,400 部 (月平均 6,700 部)

## (3) 英文論文誌

年間ページ数 192 ページ (隔月平均 32 ページ)

## 5. 電気学会将来問題検討委員会

昭和59年3月理事会に答申を提出した。引続き電気学会将来問題実施検討委員会を設置して審議する予定。

## 6. 出 版

(1) 技術報告発行 22 点

(2) JEC 発行 5 点

## 7. 電気規格調査会

(1) 委員会の開催回数

◦規格役員会……………6回(うち, 1回は地方開催)

◦常置委員会……………14回

- 標準特別委員会…………… 200 回(小委員会, 幹事会を含む)
- IEC 国内委員会…………… 80 回
- 合計 300 回

(2) 委員会の新設・解散

- 新設…………… 3 委員会
- 解散…………… 3 委員会

(3) 標準規格の制定・改訂…………… 5 件

(ただし, 59 年度に原案を作成する件数は 6 件とする。)

8. 調査研究委員会

(1) 委員会の開催数

- 運営委員会…………… 4 回
- 技術委員会…………… 160 回
- 専門委員会…………… 750 回 (小委員会, 幹事会を含む)
- 研究会…………… 167 回 (うち, 地方開催は 43 回, 68 日を予定)

合計 1,081 回

注) 研究会の開催回数のうち, 32 回は電子通信学会の合同設置の研究会の開催回数である。従って本会の開催回数は 135 回, 発表論文数は 1,305 件を予定している。

(2) 委員会の新設・解散

- 新設…………… 39 委員会
- 解散…………… 31 委員会

9. 国際会議・シンポジウム等の開催

- (1) 国際会議…………… なし
- (2) シンポジウム

- 第 4 回センサの基礎と応用シンポジウム (59. 6 筑波)
- 第 17 回電気絶縁材料シンポジウム (59. 9 東京)
- 等 14 回電気絶縁材料に関する若手セミナー (59.10 関西)
- 第 14 回 FM シンポジウム (60. 3 東京)
- 第 6 回ドライプロセスシンポジウム (59.9 東京)

注) 東京支部と共催のものや, 当社が事務を引き受けるだけのものは, 省略した。

10. 桜井資金による国際会議への派遣 (2~3 名)

11. 通信教育会

(1) 通信教育事業

- a. 引続き大学講座, 高校講座の通信教育を実施する。入学者数を 400 名と見込む。
- b. 59 年度に技術講座「電子回路」および「情報処理」の 2 課程を開講する。技術講座の入学者数を 40 名と見込む。

(2) 図書出版事業

- a. 引続き新刊出版企画 (新シリーズ計画教科書の刊行) を推進する。当年度少くとも 6 点の刊行を計画する。
- b. 既刊図書のうち陳腐化したものの改訂を適時実施する。
- c. 一般図書 94,500 部の売上収入を見込む。

12. その他

- (1) 各種団体の研究助成候補者の推薦
- (2) 学術団体の講演会等の共催・協賛

## 昭和59年度予算(案)

## 収入の部(単位:千円)

科 目	公益会計	収益会計	合 計
会 費 収 入	80,300	147,700	228,000
正 員 会 費	23,300	132,200	155,500
准 員 会 費	0	4,200	4,200
学 生 員 会 費	0	1,300	1,300
入 会 金	700	0	700
終身会費取くずし金	0	300	300
維 持 員 会 費	56,300	9,700	66,000
雑 誌・論 文 誌 収 入	0	79,500	79,500
頒 布 収 入	0	37,300	37,300
広 告 収 入	0	42,200	42,200
図 書 収 入	0	53,600	53,600
調 査 収 入	47,500	0	47,500
雑 収 入	1,800	800	2,600
利 子 収 入	23,000	0	23,000
補 助 金	2,500	0	2,500
資 金 利 子 繰 入 金	1,500	0	1,500
特 別 会 計 繰 入 金	5,000	0	5,000
特 別 積 立 金 繰 入	3,600	0	3,600
合 計	165,200	281,600	446,800

## 支出の部(単位:千円)

科 目	公益会計	収益会計	合 計
事 務 所 費	9,320	15,880	25,200
事 務 費	10,400	17,700	28,100
人 件 費	55,570	86,630	142,200
諸 会 費	400	0	400
支 部 費	16,000	0	16,000
賞 金 費	3,800	0	3,800
電 気 規 格 調 査 会 費	12,100	0	12,100
調 査 研 究 委 員 会 費	55,500	0	55,500
連 合 調 査 会 費	700	0	700
雑 誌・論 文 誌 出 版 費	0	127,700	127,700
図 書 出 版 費	0	32,900	32,900
予 備 費	1,410	790	2,200
合 計	165,200	281,600	446,800

収入の部 (単位: 千円)

通信教育会 予算 (案)

科 目	公 益 会 計	収 益 会 計	合 計
講 座 収 入	6,615	0	6,615
図 書 頒 布 収 入	0	146,620	146,620
受 取 利 息 等	750	250	1,000
合 計	7,365	146,870	154,235

支出の部 (単位: 千円)

教 務 費	4,193	0	4,193
図 書 出 版 費	0	70,470	70,470
販 売 直 接 費	0	5,954	5,954
人 件 費	2,656	50,154	52,810
事 務 費	218	4,841	5,059
事 務 所 費	296	6,589	6,885
調 査 宣 伝 費	244	5,426	5,670
繰 入 金	0	1,267	1,267
予 備 費	83	1,844	1,927
合 計	7,690	146,545	154,235

\*

\*